

潮寿荘だより

橘井俊彦

令和5年3月15日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮 寿 荘
記事：3月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：橘井 俊彦 (69歳)



2月3日潮寿荘ホールにて節分が始まりました。まだまだ寒い日が続いていますが潮寿荘では暖かな雰囲気の中、まずは年女の紹介です。(今年には年男はいなかったです)

みんなで年女さんの今年の意気込みを聞いてみると、恐ろしい音楽が流れ三匹の鬼がズカズカと押しつけてきました。入居者様は「何事？」ときょとんとしている方、本気で怖がり悲鳴をあげ半泣きになっている方、来た来た来たと笑っている方と様々。なかでもタエさんは「退治してやる」というオーラをビシバシと放っていて印象的でした。私たちが凸凹鬼三匹(斎藤・青木・私健斗介護士)の登場であります。鬼



本と司会のミニコントが行われています！



オニーのパンツはいいパンツー



今年のお二人の年女です！

達とはとにかく目立ちたがり屋の様子で、頼みもしていないのに、別に観たくもないのに、という皆さんの気持ちはお構いなしといった具合に、次々とモノマネやダンスなどの「鬼三変化」という名のショートタイムを始めました。満足げな様子で余興を終えた後、鬼達は入居者様に襲いかかりました。やばい、遂に争いが始まったと思った矢先、鬼達は余興で体力を使い果たしてしまいヨレヨレの状態でした。タエさんの高速

新聞玉を筆頭に次々と入居者様の新聞玉の餌食になる鬼達。(職員も一緒に鬼に玉を投げそれが一番痛かったと鬼が言っていました)最終的に鬼達は泣きそうな声で、これから人々に災いを起こさないで勘弁してください、と白旗を揚げ謝罪していました。入居者様の許しを得た鬼達は仲直りの証に潮寿荘のみな様と『鬼のパンツ』を歌って踊って無事に節分騒動は幕を閉めました。そして一



特別喫茶

文子さん

令子さん

2月22日は毎月恒例の特別喫茶の日。今回のおやつはみな様が大好きなあんこが入った『おやき』(今川焼)でした。今回のおやきは最近厨房で購入した『スチームコンベクションオーブン』という器具を使っており、中身のおやきクリームはふわわり皮はもちもち。焼いて少しカリッとした皮もおいしいけど、もちもちも美味しくて、みな様どんどん召し上がっていました。

(子供の小学校入学に本人よりドキドキしている介護士・尾上幸)

番大きな声で「鬼は外」と退治したカネニきよしさんと洋子さんの二名が大声大賞に選ばれ、二人ともまんざらでもない雰囲気でした。

最後は小腹が空いたという事もありまして、皆でポップコーンを食べて今までと同様に平和で楽しい潮寿荘が戻ってまいりました。

(行事の時が一番輝いている氷室京介のイケメン介護士・健斗)

